

鋼構造委員会「鋼橋の維持管理性・景観性を向上させる技術調査研究小委員会」(仮称)委員の公募

土木学会鋼構造委員会では、以下の研究小委員会を新たに設置いたします。この小委員会に参加いただける方を公募します。本委員会の目的及び内容は以下の通りです。

<委員会名称>

鋼橋の維持管理性・景観性を向上させる技術調査研究小委員会 (仮称)

委員長 安川義行：東日本高速道路株式会社

<背景と目的>

5年に一度の近接目視点検が義務化されるなど、維持管理性向上の必要性が以前よりも高くなったことから、鋼橋に付帯する設備として、新しい耐久性に優れた材料を用いた点検通路、常設足場などが開発され、実橋に適用されている。また、LEDを用いた照明など、夜間の景観に配慮した工夫も多く、橋梁で見られている。維持管理性や景観を含めた鋼橋の価値を向上させるためには、本体構造のみでなく、これら付帯設備も併せて検討していくことが必要である。また、景観や耐久性に大きな影響を与える設備として、排水設備が課題として挙げられているが、この排水設備はそれ自体が景観に大きな影響を与えるほか、排水設備の不備、排水設備の損傷が鋼橋の腐食を促進させ、鋼橋の性能を低下させるとともに、景観を悪化させる要因となっており、適切な排水計画や新しい技術を取り入れた排水設備が鋼橋の耐久性や維持管理性、景観を向上させるための鍵となる。

一方、今までに建設された数多くの鋼橋において、維持管理性、景観に配慮し、成功した方策やディテールが数多く存在している。これらの事例を整理し、今後の橋梁計画に生かすことが重要であると考えられる。

このような背景のもと、鋼橋の維持管理性、景観性を向上させることが可能と考えられる付帯設備を含めた鋼橋に関する国内外の最新技術、既往の良い事例を調査するとともに、それらの適切な活用方法、付帯設備のあり方、また、価値の高い鋼橋のあるべき姿を提案することを目的として、本委員会を設立する。

<活動期間>

2019年7月～2021年6月(2年間、予定) ※旅費、交通費は支給されません

<公募締切日>

2019年6月17日(月)

<応募方法>

本委員会に参加を希望される方は、(1)氏名、(2)年齢、(3)所属、(4)連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)(5)特に興味のある検討事項、等について、下記の応募先までE-mailでご連絡ください(書式は任意)。応募の際のメールタイトルを「鋼橋の維持管理性・景観性を向上させる技術調査研究小委員会」とご記入下さい。なお、委員数は

全体で 20 名程度を予定しています。応募者数によっては希望に添えない場合もございますので、あらかじめご承知おき下さい。若手技術者の応募も歓迎いたします。

<応募先，問い合わせ先>

石井 博典（幹事長）株式会社 横河ブリッジホールディングス 総合技術研究所

〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港 88 番

Tel. 043-247-8411 Fax. 043-247-8412

E-mail : h.ishii@ybhd.co.jp